



# 日原いずみの ほおずき サロン

— 39 —

## 本当の健康 住宅とは①

ゲストライターの足立和佐さんによる先週の続きです。

建築の仕事に10年以上携わってきましたが、自分の

本心に欲しい家が思い描けるようになったのは、空気がうまい家に出合ってからです。そして2年が過ぎた頃、妊娠に気づきました。

この子には将来、家を出るまでの長い時間を、空気がうまい家で健康に過ごすしてほしい、そんな思いを込めて私たち家族の空気がうま



野川建設の足立さん

い家を建てました。娘が生まれてからは、食材や日用品を見直す機会も増えました。

食材については食品添加物の有無、産地などを確認し、日用品では洗剤や柔軟剤、消臭スプレーなど、生まれたばかりの娘にとって本心に問題がないのか、考えました。

もちろん、便利だから、手軽だからという理由で普及しているものは、多くのママたちを救ってくれているものでもあるので、ガチガチに無添加・自然派のものしか使わない！ということではありません。忙しいママたちの心を軽くしてくれるものはどんどん使用していいと思っています。

ポテトサラダだって買ってもいいんです。ただ、人工的で不自然な香りや味がするものは自分の中で使わない、食べないを決めました。

アパートに住んでいた頃に使用していた消臭スプレーや柔軟剤も、空気がうまい家に住み始めてからは使っていないです。おいしい空気と杉の香りに囲まれているため、必要ないのです。

生後3カ月から空気がうまい家で育った娘は、1歳になるまで一度も体調を崩したことも熱を出したこともなく、本心に健康に育ってくれました。

しかし1歳になり、初めての保育園登園から半年間は、月に何度か熱を出し、高熱にうなされ夜通し泣く姿に母として胸が張り裂けそうな思いをしました。

子どもが健康でいてくれること、それだけで母親は安心して仕事ができ、家事ができ、普段の生活が送れることに改めて気づかされた期間でした。

そんな娘も先日2歳になり、前回熱を出したのはいつのことだったかしら、というくらい現在は健康でいてくれます。

それが家のおかけなのか、私が母からもらった健康な遺伝子のおかげなのかは分かりませんが、娘が空気がうまい家で育ち健康であるという事実は変わりませ

ん。自然素材の家はここ数年ブームとなっています。たくさん

の住宅メーカーや工務店が自然素材住宅を造っているため、多くの

メーカーを回って、何が本心にいいのかわからなくなってしまうこともあると思います。

そんな時は「空気がうまい家」という言葉を思い出していただけたら幸いです。

今月30、31の両日に、蒲郡市平田町で、空気がうまい家の完成見学会を開催します。少しでも興味をお持ちいただけたら、お気軽にご来場くださいませ。



モデルハウス「海の見える空気がうまい家」外観

コロナ感染予防対策のため、予約制での開催とさせていただきます。

詳細は、弊社ホームページ (<https://nogawa-ken.co.jp>) をご確認ください。弊社 (0532・48・8221) までお問い合わせください。

また、豊橋市西七根町にモデルハウスもござります。こちらはご予約いただければ、いつでもご覧いただけます。